参考資料

○本庁舎における自家発電設備の更新工事等について

１．自家発電設備の現状

設置年月：昭和６３年６月

設置場所：本庁舎地下２階

稼働時間：３０時間（備蓄燃料２０ｋL）

２．自家発電設備の改修

・本庁舎の浸水対策については、水密扉等の設置により対応しているが、高潮対策の観点から、地下２階に設置している自家発電設備・燃料小出槽を屋上へ移設するとともに、浸水用受変電設備を設置する。

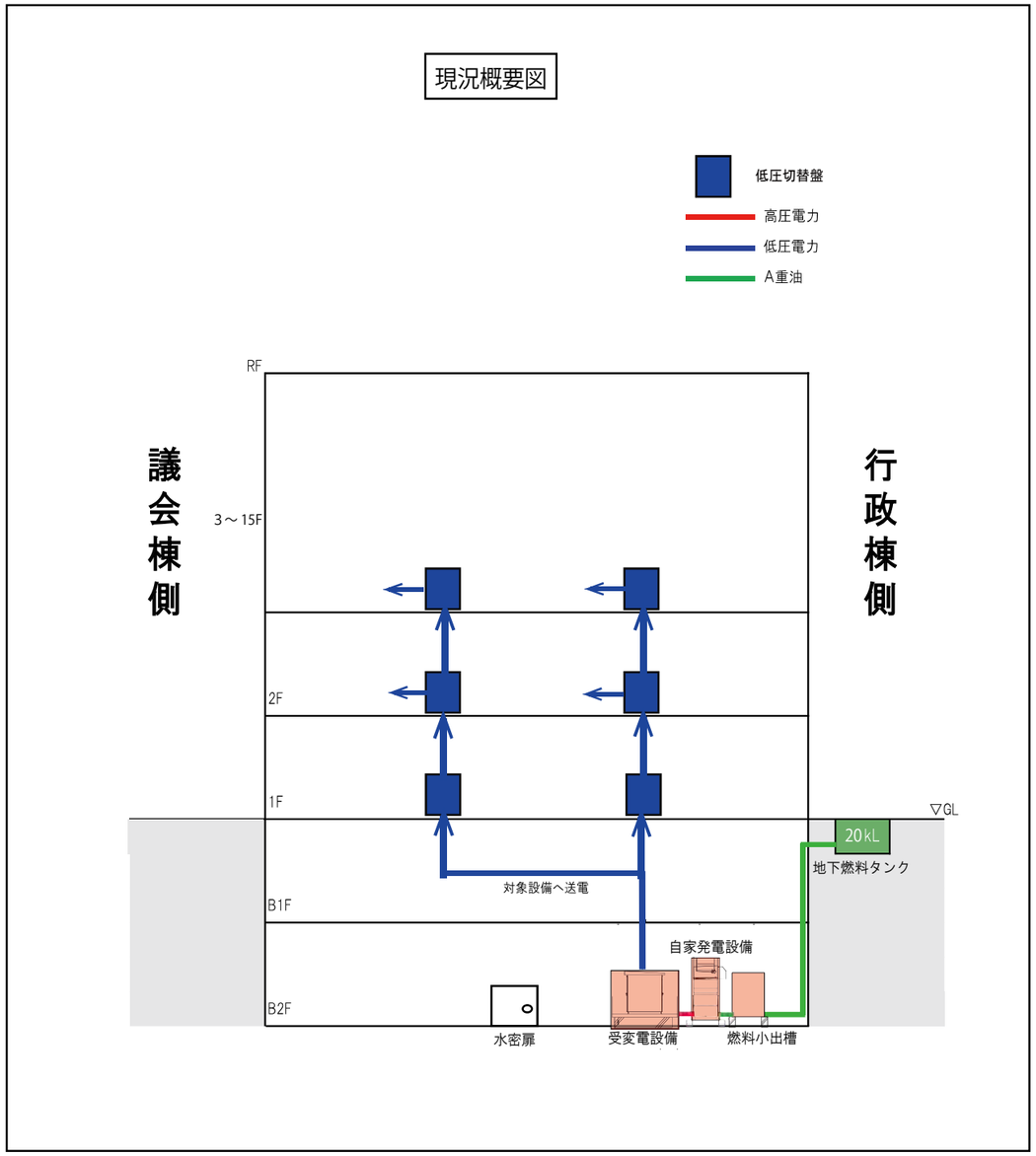
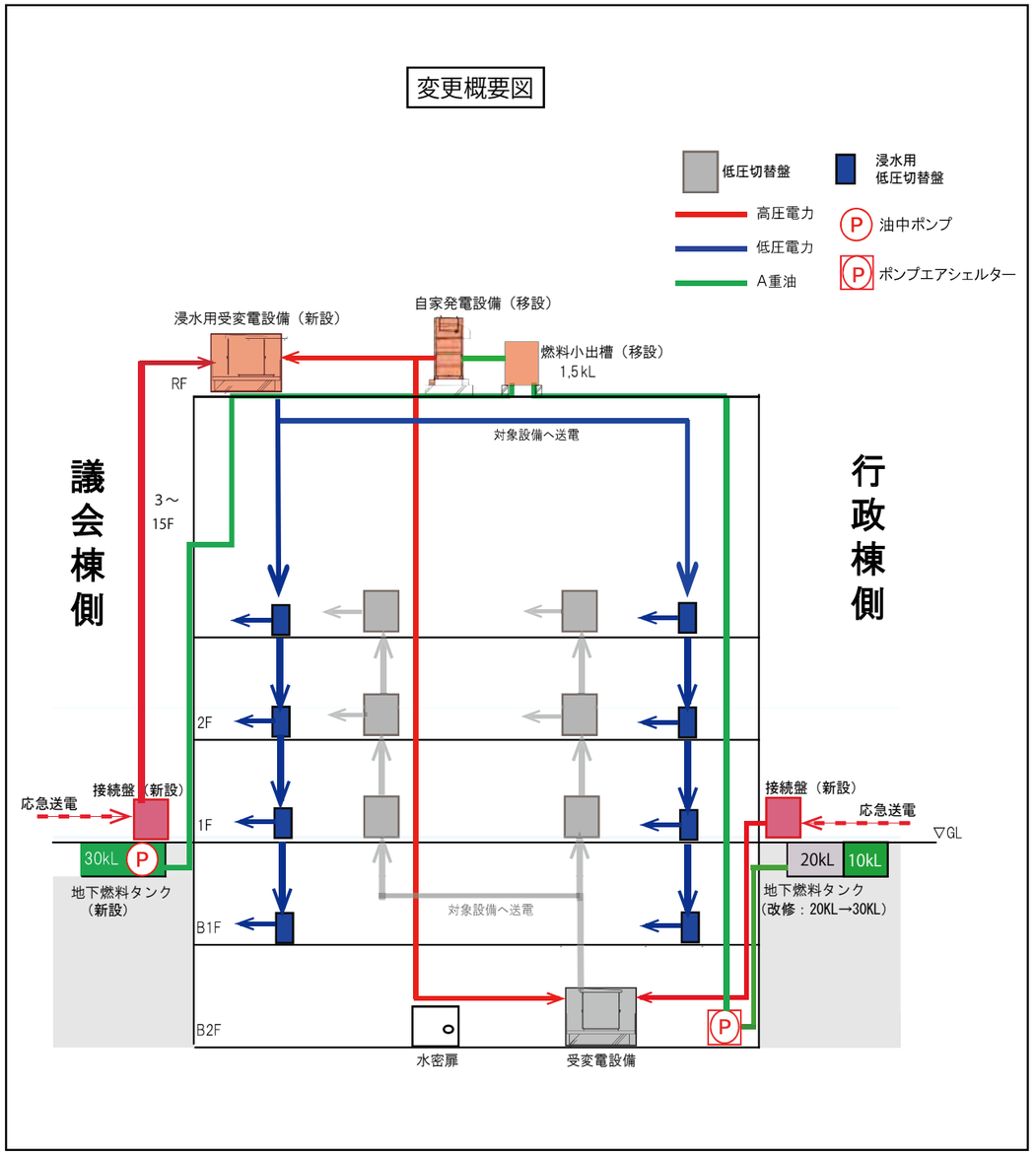
・燃料備蓄量を２０ｋLから６０ｋLに増量し、連続稼働時間を３０時間から７２時間に延長する。

・外部からの電力供給を受けることができるよう、応急送電接続盤等を設置する。

３．工事概要

（１）本庁舎自家発電設備更新工事（議案第１６４号）

経年劣化による自家発電設備を更新し、浸水災害対策として屋上に設置する。また、７２時間連続稼働するために地下燃料タンクを増設する。

（２）本庁舎低圧切替盤設置工事（報告）

浸水災害時に屋上から各階の分電盤に送電するための低圧切替盤、ケーブル及び応急送電接続盤を設置する。